

きらめく
まちビト

×

撫養 雄太



生まれ育った街を離れ、選んで就いた先は名寄市の一企業。この地で働こうと思ったきっかけや、今後の目標などについてインタビューしました。

結果が形に現れる、日々丁寧な仕事を心がけて

なぜ名寄で働くこと

私が大学で就職活動をしてきたとき、この会社の求人を見つけました。就職担当の方からは、中館社長(当時専務)がこの大学に來られて、直接求人の募集依頼をされていたことや、そのときの対応がとても好印象だったと聞かされ、自分で調べたら創業も古く、いい会社だと思ったので受けてみました。札幌など都会では働く気がなく、近くに自然が残る場所で働きたいと思っていました。

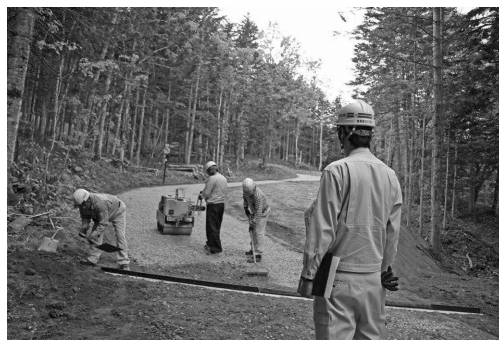
名寄に住んでみていかが

大学を卒業するまでの間、ずっと北見に住んでいましたので、比較するとやはり名寄は小さく感じてしまいます。もちろん生活していく分には、不自由なく過ごしているのですが、もう少し『遊ぶ』場所があればなあと思っています。

今はどんなお仕事を

美深の山奥にある林道の整備を行っています。コロナ禍で少し前までは、マスク着用やアルコール除菌などをしていたりしましたが、基本的に

屋外作業で密になることも少ないため、普段と変わりなく仕事できていました。ただ別の問題として、工事現場の一つの周辺で、『オジロフシ』が確認されました。営巣・繁殖の保全を考えなければいけないため、作業を中断してしまいますが、作業が遅れても丁寧な仕事を心がけています。



撫養さんが手掛ける工事現場の作業風景

仕事で良かったことなど

自分のやっていることが、形として残るといふことがいいことだと思います。また、それがあつて市民生活に役立っていると感じられることがやりがいでもあります。一方で、屋外の業種全般にイえることですが、雨や雪が

降っている中でも、休まず作業し続けなければいけないのは少々つらいです。

これからの目標は

今手掛けている林道整備は、私が現場代理人として初めて請け負う工事です。まずはこの工事を無事故・無災害で終わらせることが当面の目標です。

市民の皆さんへのメッセージ

これから働こうと思う方は、まずインターンシップなど活用して、実際どんなことをする仕事なのかどうかを見てください。それでも興味を持ってくれるなら、私たちと一緒に仕事をしましょう。

Profile

撫養 雄太 (むや ゆうた)

平成3年3月生まれ北見市出身。北見工業大学社会環境工学科を卒業後、中館建設株式会社へ入社し、現在6年目。今年結婚され、奥様と2人暮らし。趣味は、車とカメラ、キャンプなどアウトドア全般。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。